

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	岩手県			代表者名	岩手県知事 達増拓也
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	政策企画部政策企画課	連絡先電話番号	019-629-5181
担当者役職	主任	担当者氏名	佐藤優光	連絡先E-mail	
住所	020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署		連絡先E-mail	
担当者氏名		連絡先電話番号			

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名(予定)	岩手県政策評価セミナー		
概要	岩手県政策評価セミナーの講師対応 (政策評価・政策形成プロセスにおけるデータ分析手法について)				
支援を求める分野	EBPM その他				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年7月22日	講演(実地)	13時30分	16時30分	
				活動時間(分)	180
2-2. 派遣場所	会場名	未定(岩手県庁周辺)		最寄駅	盛岡駅
	所在地	岩手県盛岡市内丸10-1		最寄駅からの交通手段	県側で送迎予定

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	下山 紗代子
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	データの重要性をはじめ、データ分析結果を政策に反映させる流れ、評価指標の適切な設定、データ分析に役立つツールなどについて、丁寧かつ分かりやすくお話いただき、今年度の研修テーマに沿った有意義な講演であったため。
アドバイザーへの要望事項	大変御多忙であると承知しておりますが、メールを差し上げてもなかなか返信いただけなかったり、講演資料についても当日までご提供いただけなかったりと運営側としては直前まで非常に不安でした。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	25人		
	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)	
	人数	25	0	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実際に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的に記入下さい)	令和5年3月に策定した「いわて県民計画(2019~2028)」の第2期アクションプラン(R5~R8)の実効性を高めていくためには、政策評価のプロセスを通じて、マネジメントサイクルを確実に機能させていくことが重要と考えているが、客観的なデータに基づいた適切な要因分析が必ずしも出ておらず課題であることから、今年度の研修テーマとするもの。
支援により目指す成果(具体的に記入下さい)	「いわて県民計画(2019~2028)」の第2期アクションプラン(R5~R8)では、10の政策分野(I健康・余暇、II家族・子育て、III教育、IV居住環境・コミュニティ、V安全、VI仕事・収入、VII歴史・文化、VIII自然環境、IX社会基盤、X参画)ごとに、幸福に関連する客観的な指標「いわて幸福関連指標」を掲げ、その達成に向けて各種施策を展開しているところであり、政策評価・政策立案のプロセスにおける職員のデータ利活用促進・見える化等により、効果的な政策立案につながり、ひいては県民の幸福に寄与するもの。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	岩手県政策評価セミナーに係るご講演 演題「データを使って政策の改善サイクルを回そう！」 (講演資料別添)	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	研修内容を生かし、客観的なデータに基づいた適切な要因分析につなげ、マネジメントサイクルを確実に機能させていく。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	4-4に同じ。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別添アンケート集計結果のとおり。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
	4-4に同じ。	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	本セミナーの研修内容を生かし、課題について適切な要因分析を行い、令和7年度の施策の方向性を検討することとしており、政策評価レポート2024(令和6年11月末公表予定)として取りまとめ、次年度の予算編成につなげていく。	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

